

## 記者配布資料

平成27年11月25日

大阪経済記者クラブ会員各位  
(同時提供：京都経済記者クラブ)

### 「製造現場におけるIT活用に関する調査」結果について

【お問合せ先】大阪商工会議所 経済産業部  
(西田・田中・小林・中野)  
TEL：06-6944-6304

## 調査概要

### ◆調査目的

- 大阪商工会議所など近畿の18商工会議所は、域内の中堅・中小企業におけるIT技術を活用した生産性や付加価値の向上などへの期待やニーズ、IT技術活用の実情などを把握し、企業の競争力を強化するための課題や必要な支援策などを探るため、共同で標記調査を実施。
- 本調査は、今年7月に設置した「IoT・オープンネットワーク活用研究会」(事務局：大阪商工会議所)の活動の一環。今後、中堅・中小企業がIoT・オープンネットワークを経営に役立てるための課題や支援策を取りまとめ、国・自治体などに要望する。あわせて、IoT・オープンネットワークの活用事例などを紹介するセミナーも年度内に実施予定。

◆調査期間 2015年10月5日(月)～10月16日(金)

◆調査対象 4,693社  
※近畿18商工会議所の中堅・中小企業会員(製造業・資本金10億円以下)  
福井県：敦賀、大野 / 滋賀県：大津、長浜 / 京都府：京都 /  
大阪府：大阪、東大阪、岸和田、豊中、北大阪 /  
兵庫県：神戸、姫路、尼崎、明石、西宮、三木、宝塚 /  
和歌山県：田辺

◆有効回答数 439社(回答率9.4%)

### 調査結果のポイント

- 回答企業の7割台半ば(76.1%)が「IoTやオープンネットワークなどのIT技術の活用に関心」を示しており、4割強(41.2%)が「生産工程、生産ラインの効率化」に期待している。
- 課題としては、「メリット・費用対効果のわかりにくさ」や「社内人材の乏しさ」を指摘する企業が多く、具体的な活用事例の紹介や活用人材の育成が急がれる。
- また、IoT・オープンネットワークの前提となる生産設備(機械)等の「つながり」状況については、7割超(72.4%)の企業が「つながって」おらず、IoT等のIT技術の導入の素地は整っていない。

## 調査結果

### I. ITを活用した取り組み、技術の認知度について

【表1-1～1-6／単数回答】

#### ～いずれの取り組み、技術も認知度が低い

○近年、注目されているITを活用した取り組みや技術（「インダストリー4.0」、「Industrial Internet」、「IoT (Internet of Things)」、「オープンネットワーク」、「ビッグデータ」、「CPS (Cyber Physical Systems)」)の認知度について尋ねたところ、いずれの取り組み、技術も、「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」と「ほとんど知らない」を合わせると、50%を超えており、認知度は低い。

### II. IoTやオープンネットワークなどのIT技術活用の関心度について

【表2／単数回答】

#### ～約4社に3社が「関心あり」

○IoTやオープンネットワークなどのIT技術活用の関心度については、「関心はあるが、活用する方法がわからない」(64.7%)が最多。「関心があり、すでに活用している」(5.2%)、「関心があり、近く活用する予定」(6.2%)を合わせると、4社に3社(76.1%)の企業が関心を示している。  
○一方、「関心はない」企業も2割強(22.8%)。

### III. IoTやオープンネットワークなどのIT技術活用により期待するものについて

【表3／複数回答(2項目以内)】

#### ～最も期待するのは「生産工程、生産ラインの効率化」

○IoTやオープンネットワークなどのIT技術を活用することにより期待するものについては、「生産工程、生産ラインの効率化」が4割強(41.2%)で最多。次いで、「新しい製品・サービスの開発」(23.9%)、「製品・サービスの付加価値向上」(23.7%)、「自社の生産部門と他部門との情報共有」(21.4%)と続く。

### IV. IoTやオープンネットワークなどのIT技術を活用する上での障害について

【表4／複数回答(2項目以内)】

#### ～「メリット・費用対効果がわからない」が約半数

○IoT・オープンネットワークなどIT技術を活用する上での障害については、「メリット、費用対効果がわからない」が半数近く(46.9%)と最も多く、「社内に活用できる人材がいない」(37.8%)、「情報漏えいなどのリスクがある」(26.7%)、「導入コストが高い」(24.8%)と続く。

## V. 工場等の生産設備（機械）の「つながり」状況について

【表5／複数回答】

### ～「つながっていない」が7割超

- 工場等の生産設備（機械）の「つながり」状況については、7割超（72.4%）の企業が「特につながっていない」と回答。
- 一方、「工場内の複数の生産設備がネットワーク等でつながっている」（16.6%）、「工場内の生産設備の情報が自社の他の部門とネットワーク等でつながっている」（16.4%）は、それぞれ2割未満。

## VI. 自社の生産活動に関する情報の提供範囲について

【表6／複数回答】

### ～外部への情報提供には抵抗感が強い

- I o Tやオープンネットワークなどの活用を進めるため、自社の生産活動に関する情報をどの範囲まで提供できるか尋ねたところ、「原則、外部には情報を提供しない」（47.4%）が約半数。
- 一方、「情報漏えい等のリスクがなく、ビジネスに有益と判断すれば、特に限定せず公開してよい」（23.7%）とする企業も2割強ある。

## VII. 生産設備（機械）のセンサー等による各種データの収集状況について

【表7／複数回答】

### ～6割強の企業でデータの自動収集が未実施

- 生産設備（機械）のセンサー等による各種データの収集状況については、「センサー等が付いている生産設備（機械）を有していない」企業が6割強（61.5%）に上る。また、「センサー等で自動収集されているが、特に活用していない」企業も1割強（11.4%）ある。
- 一方、収集データの活用状況では、「ある程度活用しているが、もっと活用したい」（13.4%）が多く、「データを融合・分析し、活用している」（6.6%）、「データを他社に提供している」（1.6%）、「他社からデータ提供を受け、自社のデータと融合・分析し、活用している」（1.4%）など、積極的にデータ活用している企業は少数。

## <添付資料>

- ・資料1：「製造現場におけるI T活用に関する調査」結果集計表
- ・資料2：「I o T・オープンネットワーク活用研究会」概要

## 「製造現場におけるIT活用に関する調査」結果集計表

IoT・オープンネットワーク活用研究会  
(事務局:大阪商工会議所)

## 《調査概要》

- 調査期間：平成27年10月5日(月)～10月16日(金)  
 ○調査対象：4,693社  
 ○有効回答数：439社  
 ○回答率：9.4%

## 《回答企業の属性》

## 【資本金】

5千万円以下	73.6% (323)
5千万円超～1億円以下	18.5% (81)
1億円超～3億円以下	3.9% (17)
3億円超～10億円以下	4.1% (18)

## 《調査結果》

表1-1～1-6 ITを活用した取り組み、技術の認知度について（各単数回答）

表1-1 インダストリー4.0 &lt;第4次産業革命ともいわれる製造業の高度化を図るドイツの国家戦略&gt;

	全体	5千万円以下	5千万円超 ～1億円以下	1億円超 ～3億円以下	3億円超 ～10億円以下
① よく知っている	2.1% (9)	1.2% (4)	3.7% (3)	5.9% (1)	5.6% (1)
② ある程度知っている	12.8% (56)	12.4% (40)	11.1% (9)	17.6% (3)	22.2% (4)
③ 聞いたことはあるが、詳しくは知らない	26.0% (114)	24.8% (80)	27.2% (22)	29.4% (5)	38.9% (7)
④ ほとんど知らない	58.3% (256)	60.7% (196)	56.8% (46)	47.1% (8)	33.3% (6)
無回答	0.9% (4)	0.9% (3)	1.2% (1)	- (-)	- (-)
合計	100.0% (439)	100.0% (323)	100.0% (81)	100.0% (17)	100.0% (18)

表1-2 Industrial Internet &lt;アメリカのゼネラル・エレクトリック社が中心となって進めるIT、データ活用戦略&gt;

	全体	5千万円以下	5千万円超 ～1億円以下	1億円超 ～3億円以下	3億円超 ～10億円以下
① よく知っている	1.1% (5)	0.3% (1)	2.5% (2)	5.9% (1)	5.6% (1)
② ある程度知っている	6.2% (27)	6.5% (21)	3.7% (3)	11.8% (2)	5.6% (1)
③ 聞いたことはあるが、詳しくは知らない	23.9% (105)	21.4% (69)	33.3% (27)	23.5% (4)	27.8% (5)
④ ほとんど知らない	67.9% (298)	70.9% (229)	59.3% (48)	58.8% (10)	61.1% (11)
無回答	0.9% (4)	0.9% (3)	1.2% (1)	- (-)	- (-)
合計	100.0% (439)	100.0% (323)	100.0% (81)	100.0% (17)	100.0% (18)

表1-3 IoT(Internet of Things) <様々なモノやヒトの情報がインターネット等でつながること>

	全体	5千万円以下	5千万円超 ~1億円以下	1億円超 ~3億円以下	3億円超 ~10億円以下
① よく知っている	6.8% (30)	5.6% (18)	9.9% (8)	5.9% (1)	16.7% (3)
② ある程度知っている	28.0% (123)	25.1% (81)	30.9% (25)	47.1% (8)	50.0% (9)
③ 聞いたことはあるが、詳しくは知らない	28.7% (126)	28.8% (93)	30.9% (25)	29.4% (5)	16.7% (3)
④ ほとんど知らない	35.8% (157)	39.6% (128)	28.4% (23)	17.6% (3)	16.7% (3)
無回答	0.7% (3)	0.9% (3)	- (-)	- (-)	- (-)
合計	100.0% (439)	100.0% (323)	100.0% (81)	100.0% (17)	100.0% (18)

表1-4 オープンネットワーク <クラウド等を活用し、複数の事業者がデジタルデータを利活用すること>

	全体	5千万円以下	5千万円超 ~1億円以下	1億円超 ~3億円以下	3億円超 ~10億円以下
① よく知っている	7.3% (32)	6.2% (20)	11.1% (9)	5.9% (1)	11.1% (2)
② ある程度知っている	31.9% (140)	28.5% (92)	34.6% (28)	70.6% (12)	44.4% (8)
③ 聞いたことはあるが、詳しくは知らない	32.6% (143)	33.4% (108)	33.3% (27)	11.8% (2)	33.3% (6)
④ ほとんど知らない	27.6% (121)	31.0% (100)	21.0% (17)	11.8% (2)	11.1% (2)
無回答	0.7% (3)	0.9% (3)	- (-)	- (-)	- (-)
合計	100.0% (439)	100.0% (323)	100.0% (81)	100.0% (17)	100.0% (18)

表1-5 ビッグデータ <多量、多発生、多様性などを特徴とするデジタルデータの集積>

	全体	5千万円以下	5千万円超 ~1億円以下	1億円超 ~3億円以下	3億円超 ~10億円以下
① よく知っている	10.5% (46)	7.1% (23)	18.5% (15)	11.8% (2)	33.3% (6)
② ある程度知っている	36.0% (158)	33.1% (107)	43.2% (35)	58.8% (10)	33.3% (6)
③ 聞いたことはあるが、詳しくは知らない	29.4% (129)	30.7% (99)	25.9% (21)	17.6% (3)	33.3% (6)
④ ほとんど知らない	23.2% (102)	28.2% (91)	11.1% (9)	11.8% (2)	- (-)
無回答	0.9% (4)	0.9% (3)	1.2% (1)	- (-)	- (-)
合計	100.0% (439)	100.0% (323)	100.0% (81)	100.0% (17)	100.0% (18)

表1-6 CPS(Cyber Physical Systems) <デジタルデータの実世界へのフィードバックによる実世界とサイバー空間との相互連関>

	全体	5千万円以下	5千万円超 ~1億円以下	1億円超 ~3億円以下	3億円超 ~10億円以下
① よく知っている	0.7% (3)	0.6% (2)	1.2% (1)	- (-)	- (-)
② ある程度知っている	4.8% (21)	4.6% (15)	4.9% (4)	- (-)	11.1% (2)
③ 聞いたことはあるが、詳しくは知らない	17.8% (78)	16.1% (52)	21.0% (17)	47.1% (8)	5.6% (1)
④ ほとんど知らない	75.9% (333)	77.7% (251)	71.6% (58)	52.9% (9)	83.3% (15)
無回答	0.9% (4)	0.9% (3)	1.2% (1)	- (-)	- (-)
合計	100.0% (439)	100.0% (323)	100.0% (81)	100.0% (17)	100.0% (18)

表2. IoTやオープンネットワークなどのIT技術活用の関心度について（単数回答）

	全体	5千万円以下	5千万円超 ～1億円以下	1億円超 ～3億円以下	3億円超 ～10億円以下
① 関心があり、すでに活用している	5.2% (23)	5.0% (16)	8.6% (7)	- (-)	- (-)
② 関心があり、近く活用する予定	6.2% (27)	4.6% (15)	8.6% (7)	17.6% (3)	11.1% (2)
③ 関心はあるが、活用する方法がわからない	64.7% (284)	64.1% (207)	61.7% (50)	64.7% (11)	88.9% (16)
④ 関心はない	22.8% (100)	25.4% (82)	18.5% (15)	17.6% (3)	- (-)
無回答	1.1% (5)	0.9% (3)	2.5% (2)	- (-)	- (-)
<b>合計</b>	100.0% (439)	100.0% (323)	100.0% (81)	100.0% (17)	100.0% (18)

表3. IoTやオープンネットワークなどのIT技術活用により期待するものについて（2項目以内、複数回答）

	全体	5千万円以下	5千万円超 ～1億円以下	1億円超 ～3億円以下	3億円超 ～10億円以下
① 生産工程、生産ラインの効率化	41.2% (181)	40.2% (130)	38.3% (31)	52.9% (9)	61.1% (11)
② 生産部門のセキュリティ強化	4.1% (18)	2.8% (9)	3.7% (3)	17.6% (3)	16.7% (3)
③ 自社の生産部門と他の部門との情報共有	21.4% (94)	19.2% (62)	25.9% (21)	11.8% (2)	50.0% (9)
④ 外部(関連会社、取引先など)との情報共有	17.3% (76)	18.3% (59)	18.5% (15)	11.8% (2)	- (-)
⑤ 製品・サービスの付加価値向上	23.7% (104)	24.1% (78)	24.7% (20)	29.4% (5)	5.6% (1)
⑥ 新しい製品・サービスの開発	23.9% (105)	22.3% (72)	32.1% (26)	11.8% (2)	27.8% (5)
⑦ 共同研究や共同開発等のパートナー開拓	5.5% (24)	5.6% (18)	1.2% (1)	11.8% (2)	16.7% (3)
⑧ 新たなビジネスモデルの創造	19.4% (85)	17.0% (55)	27.2% (22)	29.4% (5)	16.7% (3)
⑨ その他	0.7% (3)	0.9% (3)	- (-)	- (-)	- (-)
⑩ 特に期待することはない	15.3% (67)	18.0% (58)	9.9% (8)	5.9% (1)	- (-)
無回答	2.5% (11)	3.1% (10)	1.2% (1)	- (-)	- (-)
<b>合計</b>	- (439)	- (323)	- (81)	- (17)	- (18)

表4. IoTやオープンネットワークなどのIT技術を活用する上での障害について（2項目以内、複数回答）

	全体	5千万円以下	5千万円超 ～1億円以下	1億円超 ～3億円以下	3億円超 ～10億円以下
① メリット、費用対効果が分からない	46.9% (206)	45.5% (147)	50.6% (41)	47.1% (8)	55.6% (10)
② 導入コストが高い	24.8% (109)	24.1% (78)	21.0% (17)	29.4% (5)	50.0% (9)
③ 社内に活用できる人材がいない	37.8% (166)	38.4% (124)	37.0% (30)	23.5% (4)	44.4% (8)
④ 相談する外部専門家が不足している	7.5% (33)	6.8% (22)	9.9% (8)	11.8% (2)	5.6% (1)
⑤ 知的財産や自社の情報を保護する法整備が不十分	6.4% (28)	5.9% (19)	7.4% (6)	17.6% (3)	- (-)
⑥ 情報の取得方法、取得した情報の利活用のルールが未整備	11.2% (49)	10.5% (34)	13.6% (11)	17.6% (3)	5.6% (1)
⑦ 情報漏えいなどのリスクがある	26.7% (117)	23.8% (77)	32.1% (26)	47.1% (8)	33.3% (6)
⑧ ハッカーからの攻撃リスクがある	8.0% (35)	8.4% (27)	8.6% (7)	- (-)	5.6% (1)
⑨ 新しいことに挑戦する余裕がない	11.6% (51)	13.9% (45)	7.4% (6)	- (-)	- (-)
⑩ その他	2.5% (11)	2.8% (9)	2.5% (2)	- (-)	- (-)
無回答	2.5% (11)	3.1% (10)	1.2% (1)	- (-)	- (-)
<b>合計</b>	- (439)	- (323)	- (81)	- (17)	- (18)

表5. 工場等の生産設備(機械)の「つながり」状況について(複数回答)

	全体	5千万円以下	5千万円超 ~1億円以下	1億円超 ~3億円以下	3億円超 ~10億円以下
① 工場内の複数の生産設備がネットワーク等でつながっている	16.6% (73)	15.2% (49)	17.3% (14)	11.8% (2)	44.4% (8)
② 工場内の生産設備の情報が自社の他の部門とネットワーク等でつながっている	16.4% (72)	14.2% (46)	18.5% (15)	29.4% (5)	33.3% (6)
③ 自社の生産設備の情報が他社(外部)とネットワーク等でつながっている	3.6% (16)	4.0% (13)	3.7% (3)	- (-)	- (-)
④ 特につながっていない	72.4% (318)	73.7% (238)	74.1% (60)	64.7% (11)	50.0% (9)
無回答	3.4% (15)	4.0% (13)	2.5% (2)	- (-)	- (-)
合計	- (439)	- (323)	- (81)	- (17)	- (18)

表6. 自社の生産活動に関する情報の提供範囲について(複数回答)

	全体	5千万円以下	5千万円超 ~1億円以下	1億円超 ~3億円以下	3億円超 ~10億円以下
① 子会社・関連会社には公開してよい	24.6% (108)	20.7% (67)	30.9% (25)	47.1% (8)	44.4% (8)
② 子会社・関連会社に加え、取引先には公開してよい	10.3% (45)	11.1% (36)	8.6% (7)	5.9% (1)	5.6% (1)
③ 情報漏えい等のリスクがなく、ビジネスに有益と判断すれば、特に限定せず公開してよい	23.7% (104)	24.1% (78)	25.9% (21)	5.9% (1)	22.2% (4)
④ 原則、外部には情報を提供しない	47.4% (208)	49.5% (160)	42.0% (34)	47.1% (8)	33.3% (6)
⑤ その他	2.3% (10)	1.5% (5)	1.2% (1)	11.8% (2)	11.1% (2)
無回答	4.1% (18)	5.3% (17)	1.2% (1)	- (-)	- (-)
合計	- (439)	- (323)	- (81)	- (17)	- (18)

表7. 生産設備(機械)のセンサー等による各種データの収集状況について(複数回答)

	全体	5千万円以下	5千万円超 ~1億円以下	1億円超 ~3億円以下	3億円超 ~10億円以下
① センサー等で自動的に収集されているが、特に活用していない。	11.4% (50)	10.8% (35)	11.1% (9)	17.6% (3)	16.7% (3)
② ある程度活用しているが、もっと活用したい。	13.4% (59)	10.2% (33)	17.3% (14)	17.6% (3)	50.0% (9)
③ 複数の生産設備(機械)のデータを融合・分析し、活用している	6.6% (29)	5.0% (16)	12.3% (10)	11.8% (2)	5.6% (1)
④ 生産設備(機械)のデータを他社に提供している	1.6% (7)	1.5% (5)	2.5% (2)	- (-)	- (-)
⑤ 他社からデータの提供を受け、自社のデータと融合・分析し、活用している	1.4% (6)	1.9% (6)	- (-)	- (-)	- (-)
⑥ その他	10.0% (44)	11.5% (37)	4.9% (4)	17.6% (3)	- (-)
⑦ センサー等が付いている生産設備(機械)を有していない	61.5% (270)	64.7% (209)	59.3% (48)	41.2% (7)	33.3% (6)
無回答	1.4% (6)	1.9% (6)	- (-)	- (-)	- (-)
合計	- (439)	- (323)	- (81)	- (17)	- (18)

以上

## 「IoT・オープンネットワーク活用研究会」の概要

### ～製造業の新たな潮流～

#### 1 趣 旨

- 近年、製造業を中心に、インターネットを通じて、あらゆるモノがネットワークでつながる IoT (Internet of Things) や様々な情報をクラウド上で共有するオープンネットワークが注目を集めている。
- 海外では、ITで先行する米国に対抗し、ドイツは産学官が一体となって製造業の競争力強化に取り組む国家プロジェクト「インダストリー4.0」を推進するなど、次世代製造業の主導権 (技術やプロセスの標準化など) を巡り、しのぎを削っている。
- 日本においても、製造プロセス (設計・製造・保守) の最適化をはじめ、流通業の需要予測や医療・健康分野の新サービス開発などに、IoT やオープンネットワークを活用する動きが見られるが、自社情報の公開やセキュリティ対策への不安などから限定的な活用にとどまっており、欧米に遅れているとの指摘がなされている。
- とりわけ中小企業が、IoT やオープンネットワークを活用するには、導入メリット (投資効果) の明確化や人材育成、ノウハウの習得など課題が多いと言われている。
- そこで、近畿商工会議所連合会の補助金を活用し、標記研究会を設置。IoT やオープンネットワークを巡る諸外国の動向を把握するとともに、製造業に与える影響、導入のメリット・デメリットなどを探るとともに、主に中小企業の競争力強化の観点から、IoT やオープンネットワークの活用策や必要な支援策など検討する。

#### 2 実施時期

- 平成27年6月～平成28年2月 (予定)

#### 3 参加メンバー (順不同)

- 参加商工会議所：敦賀、大野／大津、長浜／京都／大阪、東大阪、岸和田、豊中、北大阪／神戸、姫路、尼崎、明石、西宮、三木、宝塚／田辺
- オブザーバー：近畿経済産業局、神戸市、民間企業
- 事務局：大阪商工会議所

#### 4 事業内容

##### 研究会での検討の視点

IoT やオープンネットワーク分野で先行するドイツや米国の事例 (現状や今後の展開) などから、次世代製造業のモデルを展望するとともに、諸外国や日本での活用事例などを参考に、日本企業とりわけ中小製造業における IoT やオープンネットワークの活用方

法、メリット・デメリット、導入課題などを探る。

### \*IoT やオープンネットワークの活用により期待される事例

センサーなどを介して、工場の設備・機械、家電や車など様々なモノの情報をデータ化し、ネットワークでつなぐことにより、以下のような取り組みが期待される。

- 遠隔地の工場との情報共有、製造連携
- 製造部門と営業部門など他部門との情報共有、開発・販売力強化
- 協力企業や取引先など関係会社との連携強化
- 顧客ニーズの製造現場への反映
- 企業間連携による新たなビジネスモデルの創出 など

### 1) 実態調査の実施

- IoT やオープンネットワークに対する期待やニーズ、課題などを把握するため、メンバー会議所の会員を対象にアンケート調査を実施する。あわせて、必要に応じヒアリング調査を行う。

### 2) セミナーの開催

- IoT やインダストリー4.0 などオープンネットワークを巡る諸外国の状況、IoT やオープンネットワークの活用事例などを会員企業に提供するため、セミナーを開催する。

### 3) 要望の建議 (必要に応じ実施)

- 実態調査の結果を踏まえ、主として中小企業の立場から、IoT やオープンネットワークを活用するうえでの支援策やルールなどについて、政府関係機関、自治体などに要望する。

#### 要望の視点 (例)

- IoT やオープンネットワークの活用支援
- 中小企業における活用方法など情報提供
- 人材(技術者)の育成
- データの利活用可能な範囲の明確化
- 企業間連携の促進や、データ相互利用のルール策定
- データセキュリティ対策の強化と、中小企業への対応支援

## 5 スケジュール (予定)

6月17日 : 参加会議所の募集開始

7月16日 : 第1回研究会開催

10月5日～16日 : アンケート調査・ヒアリングの実施、結果公表

12月9日 : 第2回研究会開催

2月 : セミナーの開催

※ 必要に応じ、要望の建議

**【参考：これまでに設置した同種の時事問題研究会】**

- 平成20年度「大阪湾岸地域・企業連携研究会」  
大阪、堺、尼崎、神戸、姫路の5商工会議所が参画
- 平成21年度「企業等の危機管理研究会」(略称：新型インフルエンザ対応研究会)  
近畿2府4県の21商工会議所が参画  
(敦賀／長浜／京都／泉大津、茨木、大阪、堺、高石、高槻、豊中、東大阪、箕面／明石、尼崎、伊丹、小野、神戸、宝塚、西宮、三木／奈良)
- 平成22年度「“新しい外需”開拓研究会」  
近畿2府5県の17商工会議所が参画  
(敦賀／大津、彦根／京都／大阪、岸和田、堺、豊中、守口門真／神戸、龍野、西宮、三木／奈良、大和高田／紀州有田、和歌山)
- 平成23年度「サプライチェーン・リスクマネジメント研究会」  
近畿2府5県の17商工会議所が参画  
(敦賀／大津、長浜／京都／和泉、岸和田、北大阪、大阪、高石、豊中、東大阪／明石、伊丹、姫路、三木／奈良／和歌山)
- 平成24年度「中小企業の海外展開と産業空洞化に関する研究会」  
近畿2府4県の18商工会議所が参画  
(鯖江、福井／彦根／京都／和泉、泉佐野、大阪、岸和田、北大阪、豊中、東大阪／明石、尼崎、伊丹、宝塚、姫路、三木／奈良)
- 平成25年度「3Dプリンター活用研究会」  
近畿2府5県の39商工会議所が参画  
(福井、武生、鯖江／大津、長浜、彦根、近江八幡、八日市、草津、守山／舞鶴、綾部、宇治、亀岡／大阪、堺、東大阪、泉大津、岸和田、茨木、八尾、豊中、泉佐野、北大阪、松原、高石、箕面／姫路、尼崎、伊丹、三木、加古川、小野、加西、宝塚／奈良、橿原／和歌山、田辺)
- 平成26年度「ビッグデータ活用研究会」  
近畿2府5県の23商工会議所が参画  
(大野／草津／京都／大阪、堺、東大阪、泉大津、岸和田、茨木、豊中、泉佐野、北大阪、松原、箕面、和泉／姫路、尼崎、明石、加西、宝塚／奈良、生駒／田辺)

以上